

大江戸線延伸ニュース 第1号

平成19年10月28日発行 大江戸線延伸促進期成同盟
練馬区大江戸線延伸地域まちづくり課

☆本号の内容☆

- 1 補助230号線の整備に着手！
— 進む沿道地域のまちづくり —
- 2 大江戸線を延伸するためには？



補助230号線の整備に着手！ — 進む沿道地域のまちづくり —

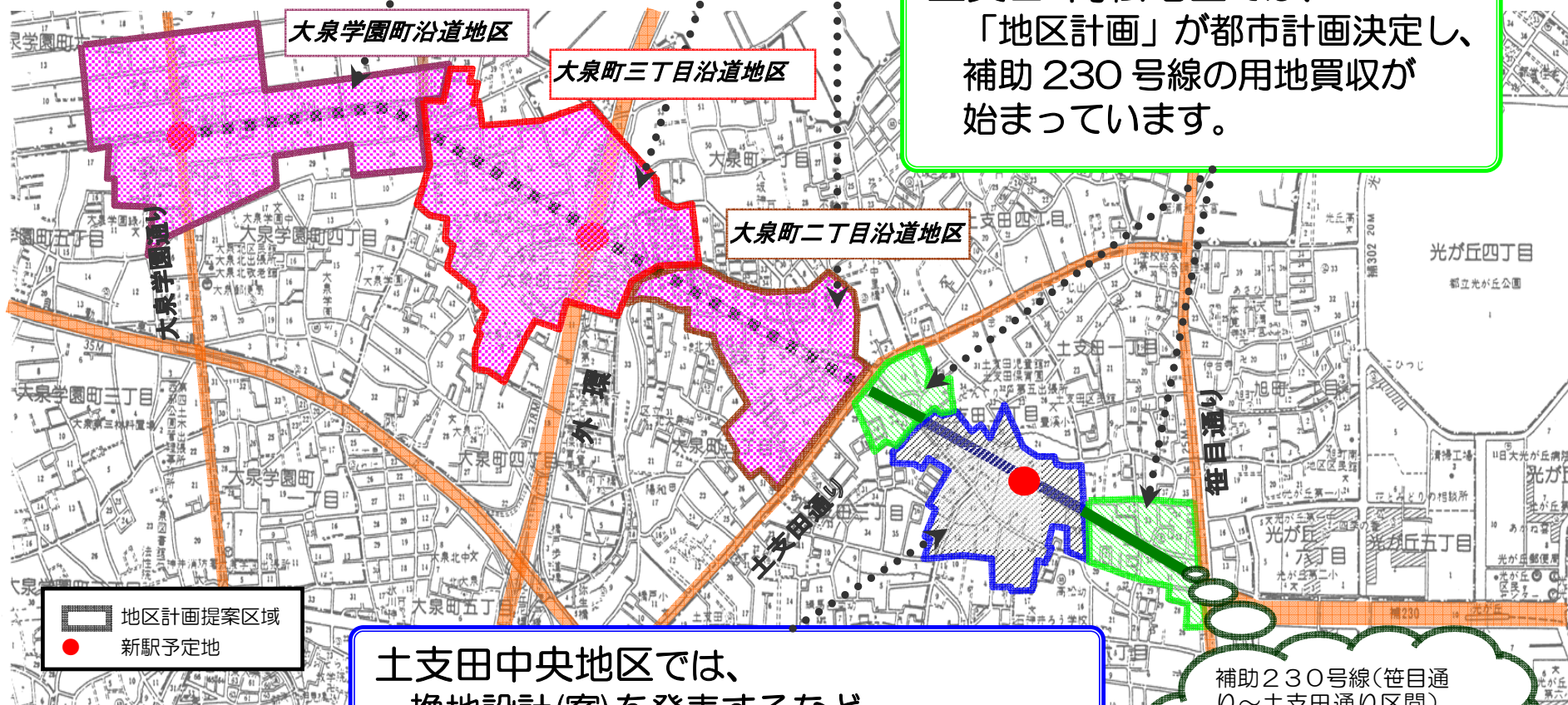
大江戸線の導入空間となる補助230号線の整備は、現在笹目通り～土支田通り区間で事業に着手しています。今後は、土支田通り～大泉学園通り区間の整備を促進するために、地域の皆様とともに沿道のまちづくりを進めてまいります。

大泉町・大泉学園町地区では、3つの地区で協議会を設立し、地区計画制度を活用した『沿道まちづくり』を進めています。

土支田・高松地区では、「地区計画」が都市計画決定し、補助230号線の用地買収が始まっています。

土支田中央地区では、換地設計(案)を発表するなど土地区画整理事業が順調に進んでいます。

補助230号線(笹目通り～土支田通り区間)は、平成18年8月に事業認可を取得しました。



大江戸線を延伸するためには？

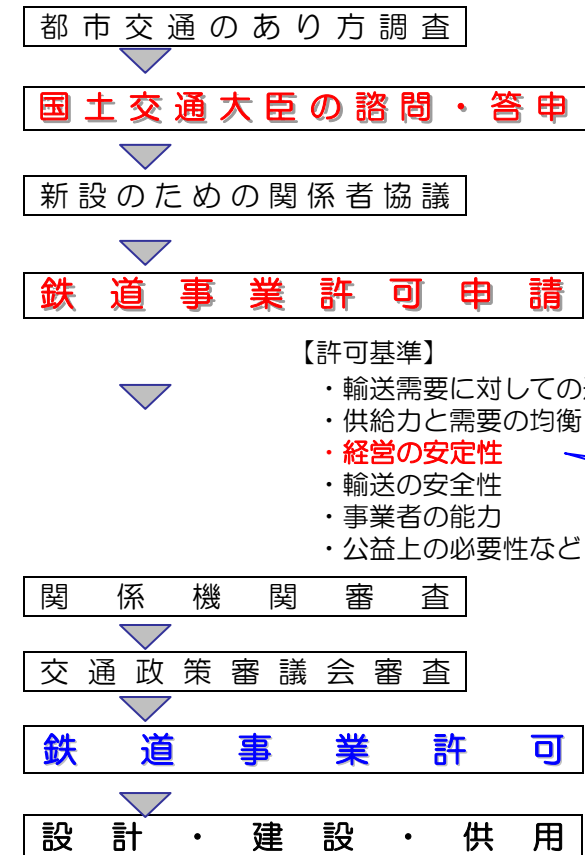
大江戸線の光が丘から大泉学園町までの延伸については、平成12年1月の運輸(現交通)政策審議会答申第18号において、「少なくとも目標年次(2015年)までに整備着手することが適当である路線」に位置付けられています。

ただし、鉄道事業の許可を取得するには、**経営の安定性**、輸送の安全性などが求められます。

そこで、課題である経営の安定性を確保するために、

- 1 鉄道用地費を削減できる「導入空間である補助230号線の整備」
 - 2 安定した利用者を確保する「周辺地域のまちづくりの推進」
- などが必要です。

一般的な鉄道事業の流れ



大江戸線の延伸は、18号答申に位置付けられています。

1 導入空間である補助230号線の整備、
2 周辺地域のまちづくりの推進
などが必要です。